

解説

金融機関が決算書で特に注目する3つのポイント【第3回】

ポイント 在庫や売掛金が急激に増加していないか？

◆ キーワードは「急激な増減項目」

前2回では単年度の決算書における注目点をお伝えしました。

今回は決算書を並べてみた場合のポイントについて述べます。

金融機関は少なくとも過去3年分の決算書を比較し、単年度の決算書だけでは見えてこない数字の推移から急激な増減項目が無いが、それが何を意味しているのかを分析します。

そこから会社の業績推移や経営課題（販路の拡大や債権未回収先の有無など）を見出し融資先としての評価をしています。

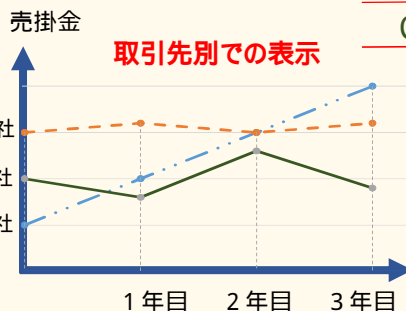
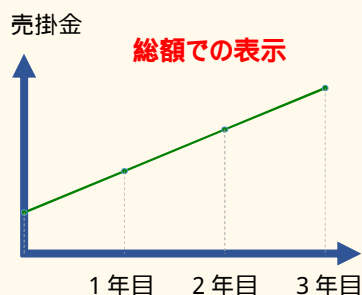
例1) 在庫量の増減



CHECK

- ・在庫増加の原因は？
 - 売上が増加したため？
 - 決算時期に大きな注文が入ったため？
 - 誤発注のため？
 - 不良在庫があるため？ etc
- ・裏付けとなる資料
 - 各年度の利益率比較
 - 種類別の在庫量推移 etc

例2) 売掛金の増減



CHECK

- 取引先別の推移
- ・C社の売掛金増加の原因は？
 - C社との取引量が増加したため？
 - 債権を回収していないため？

増減があること自体が問題ではなく、その内容を説明できないことが問題となるので経営者ご自身もその推移を把握し、原因を説明できる様になることが肝要です。

弊所では訪問監査を通じて会社にとって重要となる数字とその推移をチェックしております。

また、その後の業績報告などを通じて、経営者様に会社の現況や今後の課題をお伝えする体制を整えております。